

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

| | | | | | | |
|-----------|---|---|-----|----|-------|--|
| 政策名 | 交流・環境 | 27年度事業・施策評価結果 | | | 責任者 | 企画調整室 環境担当課長 |
| 施策名 | うるおいと魅力のある港湾空間の形成 | 成果 | コスト | | | |
| 事務事業名 | 名古屋港景観基本計画の推進 | 継続 | 維持 | 維持 | 連絡先 | 052-654-7819 |
| 目的 | 対象(誰・何を) | 臨港地区内に進出する官公庁や民間企業の建築物等 | | | 連携課 | 港営課 |
| | 意図(どうい う状態にしたいか) | 名古屋港とその周辺地域の景観形成を、ロマンと活気を基本理念に総合的、計画的に推進し、魅力ある港湾景観の形成を図ります。 | | | 事業期間 | 平成5年度～継続 |
| 概要 | 関係行政機関や事業者と連携して、景観アドバイザー制度の活用などにより、各種建築計画等と名古屋港景観基本計画及び名古屋港カラー計画との整合性を図り、魅力ある港湾景観の形成を推進します。 | | | | 根拠法令等 | |
| 28年度の実施予定 | 企業からの臨港地区内行為届出の事前相談の際に、配布する名古屋港カラー計画マニュアル(第3版)を基に名古屋港景観基本計画および名古屋港カラー計画の説明を行い、景観形成への協力を要請します。また、景観アドバイザー制度を紹介しその活用を促進します。 | | | | 実施義務 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| | | | | | 関連シート | |

2 DO(実施)

| | | | | | | |
|----------------|--|-------|-------|-------|-------|---------------------------------|
| 28年度に実施した内容・結果 | 名古屋港カラー計画との整合性について、21件の審査を行いました。企業からの臨港地区内行為届出の事前相談については、10件にに対し、景観形成の協力を要請しました。また、景観アドバイザー制度については6件の相談を受け、すべての案件について整合性を確認しました。 | | | | | |
| コスト | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 平均 | 備考(費用の増減理由等) |
| 事業費 | 千円 | 84 | 70 | 56 | 70 | 報酬 @12,600(1回分) 交通費 @1,300(1回分) |
| 人件費 | 千円 | 2,907 | 1,784 | 2,688 | 2,459 | |
| 合計 | 千円 | 2,991 | 1,853 | 2,743 | 2,529 | |

3 CHECK(検証)

| 指標名 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 中間目標 | 30 | 指標の説明・目標値の考え方 | 外部要因 |
|------------------------------------|--|----------------------|---|-------------------|-----|--|------|
| 景観審査におけるカラー計画との整合性率(%) (単年度管理型) | 目標 | 100 | 100 | 100 | 100 | 臨港地区内の申請・届出等からカラー計画マニュアルとの整合性を審査したもののうち、カラー計画マニュアルと整合した率を指標とします。(企業色や既製品を用いる場合は対象外とする。) (適合件数 20件/審査件数 21件×100=95%) | |
| | 実績 | 88 | 86 | 95 | | | |
| 事業進捗状況(28年度) | | 目標値を上回る 目標値をやや下回る | | 目標値どおり 目標値を下回る | | | |
| 事業進捗状況(28年度) | | | | | | | |
| 目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた) | 臨港地区内の申請・届出等の内、カラー計画マニュアルとの整合率は95%でした。 | | | | | | |
| 必要性・有効性・効率性の検証 | 評価 | 評価に関する説明 | | | | | |
| 必要性 | 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか? | ○ | 港内の良好な景観形成を計画的に進捗するために必要です。 | | | | |
| 有効性 | 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか? | ○ | 全体としては「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に寄与し、景観形成が促進されているため、施策達成に貢献しております。景観審査におけるカラー計画との整合性率は概ね目標値に達しており、魅力ある港湾景観形成の成果は得られています。 | | | | |
| 効率性 | 最小のコストとなっているか? | ○ | 事業者からの相談があった時のみ、アドバイザーを活用しており、必要最小限のコストとなっています。 | | | | |

4 ACTION(取組)

| 施策評価結果 | 29年度以降の方向性 | | | 判断理由 |
|---|------------|-----|--|---|
| | 成果 | コスト | | |
| 継続 | 維持 | 維持 | | 名古屋港の良好な景観形成のため、引き続き取り組む必要があるため。 |
| 取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。 | | | | |
| 課題 | | | | 29年度以降の取組 |
| 名古屋港カラー計画マニュアル(第3版)に基づく景観形成への協力要請をしておりますが強制力はありません。しかしながら、今後も、事業者に対して景観形成の趣旨を着実に伝えていく必要があります。 | | | | 事業者に対して、引き続き景観形成の趣旨について理解していただけるように努めていきます。 |